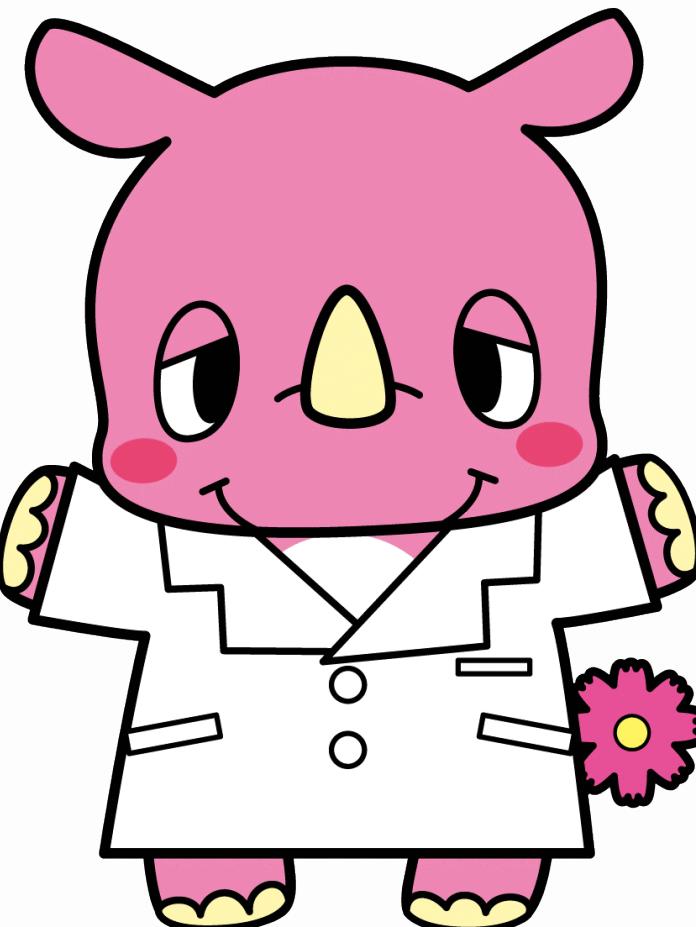


令和7年度第2回印西市国際化推進懇談会

# 外国人医療に関する 課題について



## 趣旨・目的

- ・印西市における外国人住民の医療に関する現状と課題を共有し  
地域としての理解を深める。
- ・市民/関係団体/行政が共に考え、市として今後の取り組みの  
ヒントを得る。

# 現 状

印西市の外国人住民数：3,728人

印西市国籍数：72か国

## 上位10カ国

1.中国	1,230人	6.ネパール	168人
2.ベトナム	444人	7.米国	101人
3.韓国	280人	8.台湾	94人
4.スリランカ	252人	9.ミャンマー	80人
5.フィリピン	250人	10.パキスタン	61人

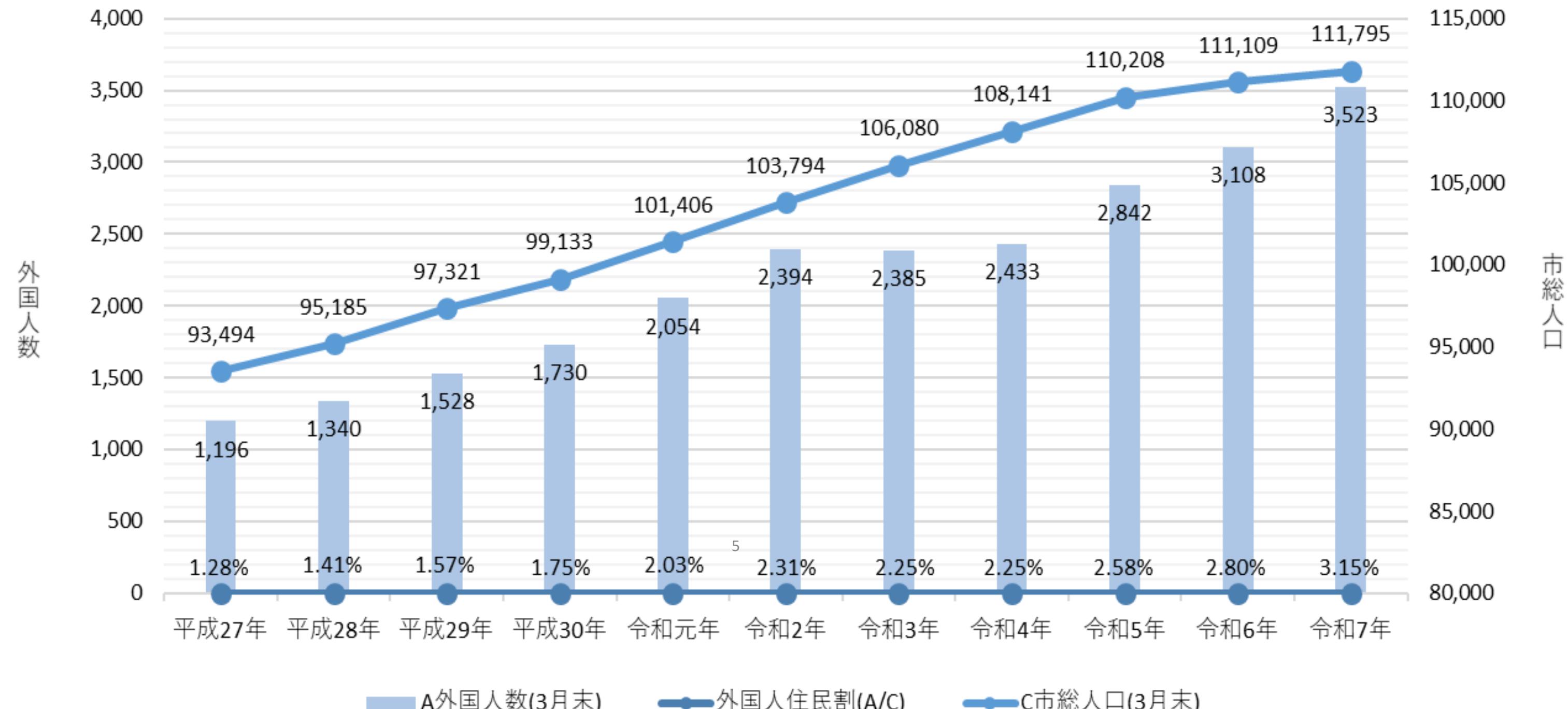
※数値は令和7年12月末日時点

## 在留資格別 上位

・永住者	1,336人
・技術/人文知識/国際業務	389人
・家族滞在	388人
・日本人の配偶者等	230人
・特定技能1号	216人
・技能実習1号口	204人
・技能実習2号口	193人
・留学	191人



# 外国人人口推移について



※数値は令和7年3月末日時点

# 想定される課題

## 言語の壁

- ペルシャ語、ダリー語、シンハラ語等
- 同伴者や機械翻訳ツールに頼る
- 安全な医療の提供が難しい
- 医療専門用語が伝わらない

## 保健・医療制度への理解不足

- 国民健康保険の加入状況
- 高額医療費制度の認知度

## 文化・宗教的配慮

- 食事制限・治療方針の違い

## 緊急時対応

- 救急搬送時の情報不足
- 災害時の医療情報

## 他県・市の事例

- ・医療に係るパンフレットなどの多言語化を情報提供
- ・健康診断など多言語での案内表示、問診票などの多言語化
- ・ICTを用いた多言語アプリを活用
- ・夜間休日ワンストップ窓口（厚労省）の活用 ※個人からの相談は対象外
- ・NPO団体と連携し 13言語 166名の医療通訳者による派遣体制の構築

# テーマ

## 医療機関利用時の困りごと

- ・外国人市民が病院に行くとき、不安なことや困ったこと（困っていること）  
例：言語、制度、費用、文化

## 情報発信や支援

- ・市からの情報発信はどんなことがあるといいか。  
例：多言語パンフレット、相談窓口、通訳サービス紹介

## 地域や市民の役割

- ・地域や市民がサポートできること  
例：ボランティア通訳、医療情報の周知